

入試年度	2026年度	入試時期	I期入学試験	実施日	2025年9月16日
課程	博士前期課程	研究科	経営学研究科	専攻・コース	経営学専攻
入試方式	一般入学試験 外国人留学生入学試験	試験科目	専門科目（会計学）		

解答又は解答例及び出題意図

【解答例（採点時の観点）】

※特定の解答例のみを正答と誘導する恐れがあるので、模範解答は示さない。

<問1>

- (1) 会計処理の方法が異なると損益計算の結果に違いが生じることを認識し、その選択意図と導かれる結果との整合を、設例を用いて具体的に説明することができることを期待している。
- (2) のれんの会計処理についての基礎的な理解があることを示し、さらに日本基準が国際的な基準と異なる点をめぐる近時の動向や考え方に言及できると、より好ましい。

<問2>

- (1) 理解していないと困る会計学の基本用語についての説明を問うものである。
- (2) 最新の会計基準に関する問いで、興味や関心の広さや深さを問うものである。

【出題の意図】

大学院での研究の基盤となる会計学の基本知識及び体系的な理解が身についていること、並びに課題や論点を的確に抽出し、分析・検討を行った上で結論にまとめることができる論理的思考力を確認するための、記述式筆記試験である。

合否判定の方法及び基準

入学試験は、経営学研究科のアドミッション・ポリシーに基づき、これを満たす学生を募集することを目的に実施している。

合否判定については、本研究科のアドミッション・ポリシーを満たしているかを総合的な視点により判断している。

入試年度	2026年度	入試時期	I期入学試験	実施日	2025年9月16日
課程	博士前期課程	研究科	経営学研究科	専攻・コース	経営学専攻
入試方式	一般入学試験 外国人留学生入学試験	試験科目	専門科目（会計学）		

解答又は解答例及び出題意図

【解答例（採点時の観点）】

特定の解答に誘導することを避けるため、解答例は示さず採点時の観点を以下に示す。

問1

- (3) 直接原価計算の特徴について正確な理解を示し、かつ、経営管理におけるその意義を論理的に詳述できていること。
- (4) ミニ・プロフィットセンターの特徴について正確な理解を示し、かつ、経営管理におけるその導入効果を論理的に詳述できていること。

問2

- (3) 意思決定会計において用いられる特殊原価概念である差額原価と埋没原価について、詳細に説明できていること。
- (4) 経営分析における主要な指標である労働分配率について、詳細に説明できていること。

【出題の意図】

学士水準に相当する会計学の基礎知識および研究能力を記述式筆記試験により評価するため、標準的な財務会計および管理会計の主要テーマからバランス良く出題することを意図している。管理会計については、問1(3)で原価計算の種類に関する知識と経営管理における意義を、問1(4)で分権化組織における責任会計に関する知識と新たな手法の理解を問う問題とした。また、問2(3)で意思決定会計において用いられる特殊原価概念についての基礎知識を、問2(4)で経営分析における主要な経営指標（財務指標）についての基礎知識を問う問題とした。問1は2問のうち1問、問2は4問のうち2問を選択して解答する形式としている。

合否判定の方法及び基準

入学試験は、経営学研究科のアドミッション・ポリシーに基づき、これを満たす学生を募集することを目的に実施している。

合否判定については、本研究科のアドミッション・ポリシーを満たしているかを総合的な視点により判断している。